

平成28年度 第1回 直江津区地域協議会

次 第

日時：平成28年4月13日（水）午後5時～

会場：レインボーセンター 第三会議室

1 開 会

2 会長あいさつ

3 議 題

【自主的審議事項】

直江津まちづくり構想について

4 その他

5 閉 会

上新水第 12795 号

平成 28 年 4 月 8 日



直江津区地域協議会

会長 増田 和 昭 様

上越市長 村山 秀 幸

(企画政策部新水族博物館整備課)



新水族博物館を活用した直江津のまちづくりに関する意見書について (回答)

平成 28 年 2 月 19 日付けで提出のありました意見書について、下記のとおり回答します。

記

1 意見書の要旨

平成 30 年の新水族博物館の開館については、地域活性化のまたとない機会であることから、地域住民等との意見交換会を開催するなどして、直江津のまちづくりに必要な事項を審議している。次の各項目については、平成 28 年度に市が主体となって取り組んでほしい。

(1) 来訪者の利便性とおもてなし

- ・海浜公園内トイレの案内看板の設置、水族博物館への誘導看板の整備、名所・旧跡等への誘導看板への距離表示

(2) 渋滞緩和・安全対策

- ・道路拡幅や歩道整備、まちなかの駐車場の活用、パークアンドライド方式の検討

(3) 直江津区の PR 策

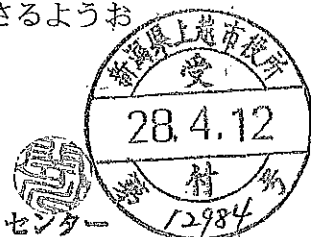
- ・インターネットの活用、上越妙高駅や春日山での土産物等の看板設置、案内マップの工夫、駅前観光案内所の整備、レンタサイクルの設置

2 意見書への回答

新水族博物館は、先進的で魅力ある施設として整備いたしますことから、施設の持つ集客力を当市のまちづくりに生かすよう様々な事業に着手しております。

市が主体となって取り組むべきものとしてご意見をいただいた各項目につきまして、渋滞緩和策や PR 策は既に計画を進めているところであり、おもてなし事業などは、引き続き関係者との協議を進めてまいります。また、誘導看板の設置や観光案内所の整備、レンタサイクルの設置など、関係機関の協力が必要な事項については実現性も含めて検討し、適切に対処してまいります。

あわせて、全国から大勢の来訪者をお迎えし、地域活性化を図っていくためには、地元の方々の多様な活動も必要と考えます。直江津区地域協議会におかれましても、住民の皆さんに働きかけていただくなど、引き続き、市と連携を図りながら取り組んでくださるようお願いいたします。



北部まちづくりセンター

直江津区の観光振興について

直江津区は歴史のまちであり日本の歴史の早い頃から国府が置かれ、頸城野の中心地として栄えてきたところです。平成30年には新水族博物館が開館する予定となっております。これをひとつの機会として直江津のまちの発展と観光振興について考察しましたので、上越市第5次観光振興計画を補強する意見として提出致します。

・考え方

新水族博物館を一つの核として歴史と文化を生かした住みやすく活気のあるまちとすることが必要です。

・方向性

- ・市民により直江津まち歩きツアー、四十物祭り、鉄道まつり、祇園祭、等が実施されていますので、これらの市民の活動やイベントと連携して賑わい出しを図っていく必要があります。
- ・市民の新しい発想や創意を活かすような仕組みづくり、市民参加の仕組みづくりが必要です。
- ・直江津の歴史と文化、生業を生かしたまちづくりが必要です。
- ・交通の結節点である特色を生かしたまちづくりが必要です。
- ・新水族博物館を核としたまちづくりが必要です。

具体的な取り組みについて

- ・市民及び市民活動団体と協働する。
 - ① 市民及び市民活動団体に観光振興計画を説明して定期的に意見交換を行う。
 - ② 市民活動団体の観光を振興する活動に対して連携し、支援する。
 - ③ 直江津の観光について考えてもらい活動してもらうような住民の活動を支援する。
- ・直江津の魅力を発信する。
 - ① 情報通信（ホームページ、SNS、メールマガジン等）を活用した情報を発信する。
 - ② お客様の志向に合わせた多様なマップ、パンフレットを作成する。
 - ③ 情報発信基地を設置する。（水族館の中に総合情報発信基地を設置する。）
 - ④ 主要施設や街角にマップやパンフレットを配備する。
 - ⑤ 食事処や商店を案内するマップをつくる。
- ・案内看板等を整備する。
 - ① 案内標識を魚のイラストを入れたり、目的地までの距離と時間を入れたり、ようこそその言葉を入れたりして見て楽しい案内標識をつくる。

- ② 主要な歴史資産や文化資産には説明の案内板を付ける。
- ③ トイレや駐車場の案内をきめ細かく行う。

・おもてなし施設等を整備する。

- ① 主要な歴史資産や建物にシャワートイレを設置する。
- ② 直江津駅舎の中に観光案内所とお休み処を設置する。
- ③ 街中の各所にお休み処を設置して、イスとテーブル、目印ののぼり旗、観光案内パンフレット、市内の観光写真等を配備する。(先ずは公共施設に設置し、順次協力していただける商店や民家、空き家の活用に拡大していく。)
- ④ 空き家を活用して街中に観光情報お休み処を設けて観光案内と情報発信、誰でもが自由に休めるお休み処、コミュニティカフェ、クラフトショップコーナー等、を運営する。運営は市民活動団体に任せる。
- ⑤ 主要な観光施設に駐車場を整備する。

・強調して発信する歴史資産、文化資産等 (順不同)

- ① 五智の歴史 (国分寺、親鸞上人上陸の地、居多神社、御館公園、など)
- ② 三八の朝市
- ③ 八幡宮公園 (ほたる) と朝市
- ④ 福島城 (資料館の整備)
- ⑤ 祇園祭 (屋台会館の活用)
- ⑥ 安寿と厨子王
- ⑦ 旧直江津銀行
- ⑧ 屋台会館 (祇園祭の PR)
- ⑨ 鉄道のまち (蒸気機関車の展示)
- ⑩ 平和公園
- ⑪ 大日如来座像 (管理: 明静院)
- ⑫ 句碑、歌碑、文学碑
- ⑬ 五智里山公園 (自然の宝庫)
- ⑭ 日本海の眺望

・港を活用する

- ① 観光客船を誘致する。
- ② 漁船の乗船体験事業を行う。
- ③ 火力発電所の見学会を行う。
- ④ 佐渡市と連携して佐渡の世界遺産登録を前提とした観光情報を発信する。
- ⑤ 佐渡のアンテナショップを設置する。
- ⑥ 港の釣り場を発信する。

・新水族館を活用する。

- ① 水族館の中に観光情報発信基地を設置し上越市全域や周辺市の観光案内を行うとともに、観光情報を総合的に発信する。
- ② 水族館と商店街の割引券を相互に発券する。
- ③ 水族館からの日本海の眺めを売りにする。
- ④ 海鮮レストランを設置して夜間まで営業する。

・周辺の環境を整備する。

- ① 渋滞にならないように車線や道路幅、信号、横断歩道等を整備する。
- ② 渋滞にならないようにアクセス道路を整備し迂回対策を考える。
- ③ 水族館の駐車場を十分確保するとともに、駅からのシャトルバスを導入する。
- ④ 繁忙期には臨時駐車場を整備するなどしてシャトルバスを導入する。
- ⑤ 上越市の総合観光物産センターを整備する。
- ⑥ 水族館周辺の空き地や海岸道路の草刈とゴミ拾いを徹底する。
- ⑦ 直江津駅前に大規模駐車場を設置する。
- ⑧ 親鸞上人上陸の地へのアクセス整備

・その他の施策

- ① 空き家を活用するための支援制度を設けて商店等の出店を誘導する。(空き家のデータベース化)
- ② 雁木や雁木下の歩道を整備して町並みの景観をつくる。(助成金制度の周知・利活用)
- ③ 観光客、住民の皆さんの足としてタウンカーを運行する。
- ④ レンタサイクルの導入(管理運営は観光振興市民会議で行う。)
- ⑤ 民間の建物の外観整備事業を行う。
- ⑥ 電柱の地中化
- ⑦ 歩行者用に雨よけの屋根を設置する。